

沖縄県内で働く女性の現状を知っていますか

県 民意調査による「働く理由」の1位は「生計維持」が圧倒的に多く、7割を超えます(表1)。また、保育所の0歳児・1～2歳児の利用率が全国比の2倍(表2)となっており、子育て期の女性の有業率が高いことがわかります。母子家庭の出現率の高さもありますが「女性も働き続けなければ生計維持がままならない」という家計状況が反映されています。さらに、女性の雇用形態は6割が非正規労働者(県労働局調査)というのが現状です。

県労働環境実態調査(H26)による企業の育児休業制度導入率は49.1%およそ半数です。本年4月、女性活躍推進法は施行されましたが、常時雇用する労働者が300人以下の企業は努力義務となっており、働く女性の環境整備は実現途上といえるでしょう。

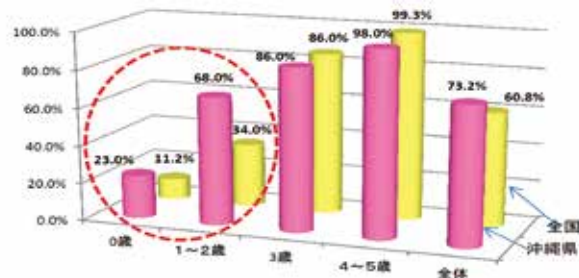
子どものいる県内女性の多数は家事・育児をこなしながら働いています。性別役割分業の根づく沖縄社会で、女性が働き続けるには、男性の意識改革が不可欠です。そして、自分らしくいきいきと働くためにも、ひとりひとりが長期的なライフサイクルを見据えたプランを確立することが大切でしょう。

働くうえで知っておきたいこと

- 働く際の条件
- 給与が最低賃金以上か
- 残業の取扱いについて
- 休みの日数を確認
- 社会保険制度について (沖縄おしごと美人ガイドブックより)

表1)働いている理由(複数回答) (平成28年県民意調査)	今回調査		H12年調査	
	女性	男性	女性	男性
①生計を維持するため	70.9	66.1	70.3	77.7
②子どもの教育費のため	24.7	17.4	25.3	23.3
③自分の能力、技術を活かすため	23.2	16.7	26.0	22.1
④老後の蓄えのため	22.9	18.0	16.9	17.2

表2)幼稚園及び保育所の利用率(沖縄県労働局)



地域連絡会(男女共同参画を地域で進めるメンバー)
活動報告・企業訪問

11月27日、市内企業ステーション・ピーにて、男女共同参画紙芝居「桃子のメッセージ」を公演しました。
※随時企業訪問します(^O^)/開催企業募集中!



問合せ:市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線421 「お互いに 未来を掴もう 共同参画」

学び、ふれあい、感じる実践の場

申し込み・問い合わせ先
男女共同参画支援センター ふくふく
宜野湾市志真志1丁目15番22号
電話 896-1616

講師 沖縄レインボープロジェクト
日時 2月15日(水) 午後8時～9時
場所 男女共同参画支援センター ふくふく 2階
対象 関心のある方(市外の方も参加可能です)
受講料 無料
※受講ご希望の方は事前にお申込みください。

テーマ 性の多様性を考える
『性に対する思い込みを解きほぐすワークショップ』

めぶき★ふくふく情報

★第11回ふくふく講座

LGBT・セクシュアルマイノリティという言葉を知り、機会が増えました。しかしそもそもセクシュアリティ(性)ってなんでしょう?こころの話?体の話?セックスの話?みんなが性に対して思っている「当たり前」を再考し解きほぐすワークショップです。

人材育成交渉センターおよび男女共同参画支援センターでは団体登録制度を設け、男女共同参画社会の実現や国際交流を目的に活動する団体を応援します。団体登録になるための説明会および交流会を開催します。
日時 2月15日(水) 午後6時45分～7時45分
場所 男女共同参画支援センター ふくふく 1階
対象 めぶき・ふくふく登録団体・関心のある方

★平成29年度センター(めぶき・ふくふく)団体登録説明会&団体交流会



皆様のご参加をお待ちしています。